



あなただよりの 議会だより

議会だより

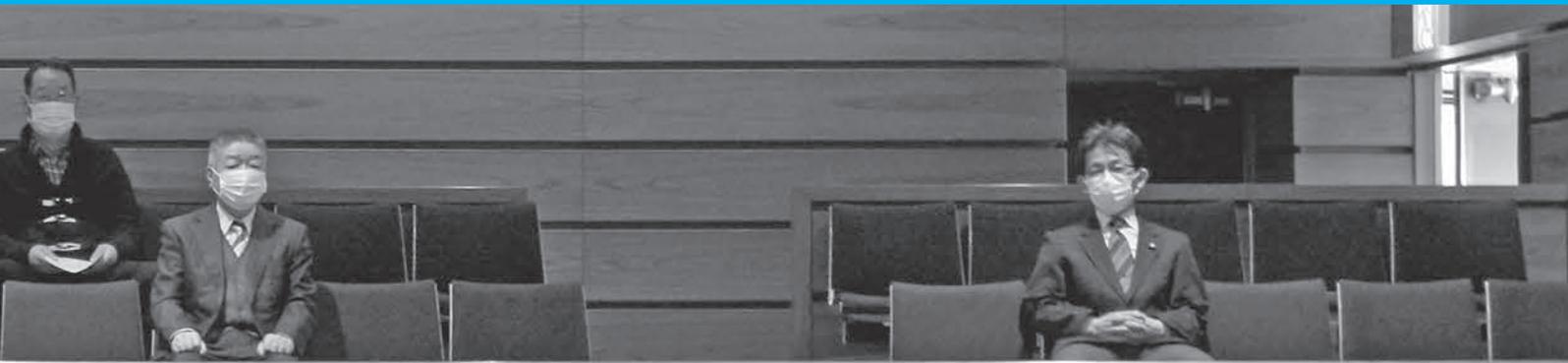
あなたと議会を
つなぐ情報誌

No. **199**号 令和4.5.15

主な内容

令和4年度の当初予算・令和3年度補正予算を議決 (3月定例会議)	2 ~ 5
予算決算特別委員会	6 ~ 8
常任委員会報告	9 ~ 11
5名の議員が一般質問	12 ~ 15
臨時会議	15 ~ 17
議会の主な活動・編集後記	18

ムスカリ



定例会議2日目(一般質問:3月3日)の傍聴席

令和4年度予算を可決

◆ 一般会計 ◆

105億300万円

◆ 歳入内訳 ◆

区 分	予 算 額
地方交付税 (国から交付されるお金)	35億7,500万円
町税 (町民税、固定資産税など)	20億2,013万円
国・県支出金 (特定の事業に対して国や県が支出するお金)	14億1,446万円
繰入金 (特別会計や基金から繰り入れるお金)	12億2,306万円
町債 (借入金)	8億7,580万円
その他 (寄附金、使用料、手数料収入など)	13億9,455万円

◆ 令和4年度 一般会計の主な重点施策 ◆

事 業 名	予 算 額
防災対策事業	1,691万円
情報化推進事業	9,518万円
ふるさと納税事業	2億2,467万円
地域振興事業 (集落支援員の設置等)	419万円
戸籍住民基本台帳事務費	3,071万円
移動困難者タクシー助成事業	1,219万円
予防事業 (子宮頸がん予防ワクチン接種業務委託等)	8,846万円
健康増進事業	1,499万円
六合温泉医療センター運営管理事業	2億5,479万円
木材活用センター運営管理事業	2億1,218万円
中之条山の上庭園運営管理事業	4,803万円
中之条ガーデンズ運営管理事業	1億5,910万円
橋梁長寿命化修繕計画事業	6,600万円
道路除雪事業 (除雪機械更新等)	6,374万円
六合地区観光施設管理事業 (日帰り温泉施設の設計業務等)	1,283万円
学校保健管理事業 (GIGAスクール構想に係る眼科検診等)	445万円
消防団運営事業	7,042万円
ツインプラザ運営管理事業	8,330万円
総合運動場運営管理事業	5,106万円
文化財保護管理事業	4,150万円

3月定例会議

3月定例会議は、2日から16日までの15日間の審議期間で開かれました。3日には、5人の議員が一般質問を行いました。令和4年度各会計予算、令和3年度補正予算、条例の制定や一部改正、財産の取得など町長提出議案41件を審議し、原案どおり可決しました。また新年度予算は集中的に審査するため「予算決算審査特別委員会」に付託されました。

そのほか、議員提案によるロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める要望、同決議及び条例の一部改正の3件を原案どおり可決しました。



◆特別会計・企業会計予算◆

70億726万円

会計名		予算額	一般会計からの繰入金
特別会計	国民健康保険	19億7,800万円	1億2,471万円
	後期高齢者医療	2億7,000万円	7,012万円
	介護保険	19億8,100万円	2億8,745万円
	四万へき地診療所事業	6,400万円	1,822万円
	ゆうあい荘事業	6億2,000万円	1億5,100万円
	六合簡易水道事業	5,700万円	3,200万円
	下水道事業	5億5,200万円	2億8,800万円
	農業集落排水事業	3億4,000万円	2億3,100万円
企業会計	発電事業	4億1,000万円	—
	自動車教習所事業	9,762万円	—
	上水道事業	3億8,542万円	—
	簡易水道事業	2億5,222万円	3,201万円

令和4年度予算について

討 論

反対討論

山田みどり議員

新年度一般会計当初予算は今までにない大規模予算であるが、なぜこの事業が町に必要なのか見えてこない。

中之条ガーデنزは、管理保全の委託料が大部分を占めており、維持費は今後もずっとかかってくる。外部の著名な園芸家に依存せず、町内業者の利用促進や担い手の育成に力を入れるべきである。

木材活用センターも高報酬の専門家への委託依存から抜け出せず、一方で資格を持った職員は非正規のままである。

また高い国保税は暮らしに影響を与えている。全国知事会が国保税を引き下げの意見書を出しているように負担軽減のために声を上げるべきである。

賛成討論

大場壯次議員

国・県また周辺の町村等の状況を勘案し、厳しい財政環境の中にありながらも、限られた財源を積極的、重点的に配分し、地域経済や景気対策にも考慮している。

新型コロナウイルスワクチン接種事業をはじめ、時代に即した事業が見込まれ、人口減少等の課題克服、中之条町総合戦略の基本目標、まちづくりビジョンの重点施策が適切に反映されている。

細部にわたりきめ細やかな予算措置がほどこされ、町の将来を見据え、現下の重要課題である少子高齢化、社会資本の整理、安全で安心な地域づくり、活力のある地域づくりが盛り込まれた予算となっている。

令和3年度補正予算を可決

会計名		補正額	主な内容	予算総額
一般会計		2億2,811万円	六合診療所建設に伴う旧入山小学校解体の廃棄物処理費用及び進入路の改良工事の増額など	108億2,098万円
特別会計	国民健康保険	△1億1,132万円	給付費の実績見込みによる減額など	20億886万円
	後期高齢者医療	△284万円	後期高齢者医療広域連合納付金の減額	2億4,647万円
	介護保険	△7,221万円	保険給付費等の減額など	19億7,874万円
	介護老人保健施設 ゆうあい荘事業	495万円	燃料費の増額	6億3,025万円
	下水道事業	△275万円	事業費の確定による減額	5億4,422万円
	農業集落排水事業	△5万円	事業費の確定による減額	3億4,713万円
	発電事業	330万円	事業費の確定による発電基金積立金の増額	3億9,454万円
企業会計	上水道	△28万円	職員給与費の減額など	3億6,740万円
	簡易水道	△18万円	職員給与費の減額など	2億3,400万円

補正予算の質疑

劔持秀喜議員 西吾妻福祉病院の組合負担金調整金981

万8千円の減額の理由は。

町長 西吾妻福祉病院を建設する際、六合温泉医療センターの入院施設に影響があるため、長野原町が負担金の一部を調整金として負担してきました。六合温泉医療センターの形態も変わったことから、長野原町から調整金の負担終了の申し度があつたことによるものです。

山本日出男議員 旧入山小学校の解体に伴う廃棄物の処理について経過説明を。

総務課長 廃棄物処分に相当費用がかかるため、地元の方々に呼びかけをし、備品等は希望者に安価な価格で処分をしました。補正予算の800万円は、その他廃棄物37トンの処分費用になります。

山本日出男議員 年に1回地区の小学生が資源ごみの回収をしている。資源ごみとして有効利用すれば経費削減ができるので検討してほしい。

条例制定・改正

★課設置条例の一部改正について

太陽光発電事業等を上下水道課に移管することに伴い、課名を「企業課」に変更します。

★勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

職員の有給休暇の付与等について暦年から年度に切り替えを行うものです。

★育児休暇等に関する条例の一部改正について

育児・介護休業法の改正に伴い国の措置に合わせるため行うものです。

★財政調整基金条例の一部改正について

地方財政法に沿って予算計上によらず、決算剰余金を財政調整基金に積立を可能にするため行うものです。

★消防団条例の一部改正について

消防庁からの団員の処遇改善に基づく通知や近隣町村の動向等を勘案し、団員の報酬等について見直しを行うものです。

★防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

一般家庭に属さない会社や事務所等の個別受信装置の設置について、企業等の負担軽減を図るため、負担割合を2分の1にするものです。



会社等でも災害時の情報確認などで利用されています。

★中之条町議会議員及び中之条町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定について
公職選挙法の改正に伴い、選挙運動費用の公費負担制度が拡大されたことにより、自動車の使用、ビラやポスターの作成費用の一部を公費負担できるようにします。



選挙ポスター掲示場

★個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正について
個人番号の利用や提供について、町の独自事務の種類を明確にし、住民の利便性の向上を図るものです。

★国民健康保険税条例の一部改正について
未就学児の被保険者均等割の減額等について所要の整備を行いました。

★農業公園設置及び管理に関する条例の一部改正について
調理実習室の使用料について、町民と町外の人並びに使用時間の区分を新たに設けるものです。

★小口資金融資促進条例の一部改正について
小口資金借り換え融資期間を、昨年に引き続き令和5年3月31日まで1年延長しました。

★道路法施行令の改正により国道占用料の額が改定されたため、県の基準に合わせて見直しました。

★水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
課の名称変更に伴う改正

★上水道事業給水条例の一部改正について

★簡易水道事業給水条例の一部改正について
所有者が町内に居住しない場合の代理人を置く規定について、町外在住の所有者が多くなってきたため、見直しを行いました。

★体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

沢田第2体育館（旧沢田小体育館）を体育施設以外の用途で使用するため、規定から削除するものです。



令和4年3月31日で沢田第2体育館は廃止になりました。

規約の改正

★市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
市町村や一部事務組合等で共同設置している群馬県市町村公平委員会に令和3年度から新たに1団体が参加することに伴い規約変更をします。

財産の取得

・ノートパソコン50台
（リモート環境整備事業）
テレワーク・分散勤務用PC機器購入）
取得金額…536万4700円

専決処分の報告

・県市町村総合事務組合規約の一部改正
構成団体の変更により規約を改正しました。

◎ 審議結果

議員名等 議案名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壯次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	剣持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
令和4年度一般会計補正予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

予算審査特別委員会

委員長 山本日出男委員
副委員長 関 常明 委員

3月定例会議の初日に一般会計、特別会計及び事業会計の当初予算の議案審査を予算審査特別委員会に付託し、重点事業を中心に3日間にわたり幅広く審査を行いました。

重点事業等の
主な質疑

●一般会計

《防災対策について》

問 防災フェアに代わって実施する避難訓練の内容及び支援は。

答 各行政区や消防団等が一体となって自主避難所の立ち上げや移動、運営を想定しています。地区防災計画を策定した行政区へは備品や消耗品を配布しているが、炊き出しを行う際の食材など必要なものを支援する予定です。

問 新たにハザードマップを作成するということだが、変更する内容は。

答 A1版サイズで各地区を作成していましたが、B4版のサイズにすべてのエリアを盛り込んだ冊子を計画しています。土砂災害警戒区域や避難所等の基本情報のほか、浸水想定区域や河川の警戒区域も示す予定です。

《預貯金取引照会システムについて》

問 町と金融機関のシステムを連携するが内容は従前どおりか。個人情報等で問題はないか。

答 事務の内容は同じですが、従来の郵送と比べ、手続きに要する時間が大きく短縮されます。法律に基づく事務で個人情報に問題はありません。

《情報化推進対策について》

問 企業のノウハウを活かした外部の人材によるDX推進について、具体的にどのような進めていくのか。

答 高齢者等のデジタル化対応など町民側の課題や行政内の問題を解決するために国の事業を活用し外部人材の雇用を図っていきます。

《集落支援員について》

問 伊参地区全体で専任一人では大変ではないか。複数名で担当するほうがきめ細やかな対応が可能だと思うが。

答 地区で推薦していただき町で委嘱するため、区長が兼任することも可能です。地域の方とも詳細について打ち合わせをしていきます。

問 持続的な事業として、継続していく必要があると思ふが。

答 まずは地域の中で取り組みを決めてもらい、良い事業であれば人口減の中、他の地域にも拡大していければと思います。

《ふるさと納税等について》

問 今後コロナの収束を見込んで経済活動も活発になると予想されるが、減額の理由は。

答 直近の2年間で寄附も減っています。国から地場産品の基準の見直しにより、以前のような回復は、大変厳しいことから実績により予算計上しました。

問 対前年に対し、財政調整基金の繰り入れが、1億円増額しているが理由は。

答 最終的な歳入歳出予算が決定した中での財源不足であり、ふるさと納税の減額の影響もあります。

《コンビニ発行システムの導入について》

問 住民票などがコンビニで発行でき便利になると思うが、マイナンバーカードが必要なのか。

答 発行については、本人確認のためにマイナンバーカードが必要となります。

問 高額な費用がかかるが窓口業務、人員削減などの検討はしたのか。

答 手数料も町に入らなくなりますが、業務の効率化や利便性が向上する効果はあると思います。

《移動困難者タクシーについて》

問 事業拡大によりタクシーの利用増加が予想されるが、台数など需要と供給のバランスが崩れる心配は。

答 業者とも協議を行い、不足する場合は他の営業所からも対応していただけるとのことです。

問 眼科に通院し免許証はあっても運転できないような特殊事情であっても利用できるか。

答 特殊事情については一律で対応が難しいため個別に相談いただくようになります。

《出産祝金について》

問 ライフスタイルも変容する中で1人目、2人目の出産に手厚く給付するほうが子育て支援になると思うが。

答 出生率も低く第1子が圧

倒的に多いというのは間違いありませんので、今後検討したいと思います。

《六合診療所について》

問 六合診療所の新築に伴い木質バイオマスボイラーを導入する計画だが、いままでも導入した施設で調子が悪かった。高額の費用をかけてまで導入する必要はないと思うが。

答 チップの形状や含水量が原因でエラーが多発しましたが、これをクリアできれば調子が良くなると思うので、専門機関の助言も求めて導入します。

問 床暖房だけ木質バイオマスボイラーで、空調等は他の熱源では、入山地区ということを考えるとコストが掛かりすぎないか。

答 バーデ六合が廃止になることに伴い、入山地区に温泉施設を検討していますが、このバイオマスボイラーを活用できればと考えています。

《検診事業について》

問 新規で歯科・口腔検診を行うということだが、併せて聞こえの問題に対応するため聴力検診もできないか。

答 受診者が多く集まる現状では聴力検査は難しいため、聞こえの相談という事業で対応しています。

問 ギガスクール構想も含め、子供たちが家庭の中でメディアに触れる機会が増え、目の健康が心配される。情報モラルと併せて、健康被害についても早い時期から啓発が必要だと考えるが。

答 目の健康について子供たちに啓発するため、それぞれのパソコンのスイッチが入ったときに、画面に眼科医からの注意点（トリプル20ルール）をまとめたリーフレットを表示するようになりました。

《原町赤十字病院について》

問 多額の運営助成金等を出しているが、医師の確保や受け入れ態勢など課題がある。吾妻郡全体を見て、日

赤がどうあるべきか考える必要は。

答 郡内の人口からも2つの中核病院が必要かという議論があります。一つになることで、医師が集約でき専門的な診療科目を増やせるメリットがあります。課題はありますが、将来的には集約することが必要だと思っています。

《赤岩重伝建地区保存活用について》

問 建物の外壁修理等に100%の補助金を継続して出しているが、今後どのように考えているか。

答 全国各地に重伝建地区があり外壁等の整備がされています。赤岩地区も見栄えをよくする必要がありますが、補助金を継続していますが、一巡したところで町単独補助をなくしていく必要もあります。

《赤岩湯本住宅の設計委託料が計上されているが、保存・活用方法が決定しているか。》

答 保存活用を目指して、令和2年度から調査を行っているが、

ますが、修理など建物を保存するための設計料です。今後の活用方法は、決定していません。

《木材活用センターについて》

問 地域プロジェクトマネージャーは、林業だけではなく、経営能力など幅広い知見を持っていないと役目を果たせない印象がある。ふさわしい方を採用するのは難しいと思うが。

答 地域の課題解決などに関心があり、林業関係者とも会っていたら、町の林業への思いや今後の事業展開も確認し採用したいと思っています。

問 施設を運用するためには林業従事者を育成する必要があると思うが、町内に就職することを前提とした限定的な奨学金制度を設けてはどうか。

答 プロジェクトマネージャーも含め研究させていただき、また実際に取り組んでいく自治体もあるので検討したいと思います。

問 当初は、町の木材を使用するということだったので、70から80%は町内の木材を使してほしい。

答 70から80%は厳しいと思いますが、現状と比較すると格段に多くの木材が町内で流通し、製材として、また端材は燃料などとして町の木材を町で利用できるようなと思っています。

《美野原農業公園構想について》

問 事業の具体的な内容及び委託先など詳細は。

答 町の農産物を使った事業展開や地域おこし協力隊に中山間地の現状や課題、解決方法を考えてもらうプログラムの実施を予定しています。また都市部の農業高校と協力し、農業体験をしていただき町での就農を考えてもらえるような機会をつくりたい。町内で先進的な農業の取り組みをしているNPO法人等へ委託したいと思っています。

《中之条ガーデンズについて》

問 施設の維持管理について、先生方への運営指導の経費が目立つが、ガーデンズの形態が続く限り先生方にはお世話になっていくのか。

答 植栽関係は、技術が必要のため、経費について議論はありますが、クオリティを上げた庭にしたいため、また先生方に依頼することで宣伝効果もあるため、もうしばらく専門家の先生方にお世話になる必要があります。

問 入園料収入を1100万円減額したが、来年度の当初予算では減額前と同額を見込んでいるが根拠は。

答 コロナの影響もあり、十分な集客が出来ませんでした。高い目標値として同額を計上しました。

問 費用対効果という点で、山の上庭園も含めると広告料が非常に高額である。観光協会等と連携するなど工夫する考えは。

答 雑誌広告やパンフレットなど紙媒体が中心でしたが、県外にも宣伝を広げる必要が

あるため、観光協会も含め、やり方を工夫していきたいと思えます。

《旧太子駅について》

問 無蓋車の展示では日本一を目指してやっているが、オリジナルグッズなど今後考えていることはあるか。

答 これまでホームの看板や切符をかたどったキーホルダーを作成しましたが、昔の駅弁のお茶のパックのオリジナルを作る予定です。今後はイベントとグッズの両方をそろえて宣伝していきたいと考えています。

予算審査結果

議案第1号から議案第13号について審議した結果、一般会計予算及び国民健康保険特別会計予算は賛成多数、その他の予算は全員賛成となりました。

議員提案

要望・決議、条例改正

★1号議案 ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める要望について

★2号議案 ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議について

ロシア軍のウクライナからの即時撤退について、ロシア政府及び我が国政府へ要請するものです。
※要望及び決議は、下記のとおりです。

★3号議案 議会委員会条例の一部改正について

「上下水道課」の課名が「企業課」に変更になることによる所要の改正。また、企画政策課より所掌事務が移管されることにより、太陽光発電事業等は、産業建設常任委員会の所管になります。

ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める決議

ロシアのプーチン大統領は、2月24日からウクライナでの軍事侵攻に踏み切りました。

度重なる警告を無視し対話を放棄する形での侵攻は、国際社会と対立することになりました。

今、子どもたちを含め多数のウクライナ国民の命が危険にさらされています。

世界中の人たちの願いは平和で安心して生活することです。ロシア軍による攻撃は断じて容認できません。

私たち中之条町議会は、ウクライナへの軍事侵攻と主権侵害に強く抗議するとともに世界平和に向けロシア軍の即時撤退を強く求めます。

以上、決議する。

ロシア軍のウクライナからの即時撤退を求める要望

2月24日からのロシア軍の軍事侵攻は、ウクライナの原因、都市、住民への攻撃が報道されています。

ウクライナ国民が他国へ避難するなど、あつてはならない状況が続いています。

軍事力の行使は、国連憲章違反であり世界中の人たちの暮らしを侵すものであり、断じて容認できません。

政府におかれましては、ロシア軍のウクライナからの即時撤退とウクライナ国民の安全確保に向け、さらに国際社会と協調し積極的な対応をお願いします。

以上、要望する。

総務企画

投票所等について

劔持秀喜委員 投票所が26カ所から9カ所に統合されることに伴い、投票所へ行くのが大変になり、投票率の低下が予想されるが。

総務課長 正式に決定したら広報等でも周知させていただきますが、送迎バスを考えています。また移動困難者の方等につきましては、今後タクシー会社とも対応可能か協議していきます。

劔持秀喜委員 投票所の統合により、ポスターの掲示場の数や場所はどうか。

総務課長 有権者数や面積などにより必要な箇所が決まっていますが、掲示場所についても約半分くらいに減ると思われます。

地域集落支援員について

劔持秀喜委員 今回、モデル事業として伊参地区で実施するということ

開催日 令和4年3月7日

委員長 安原 賢一

副委員長 大場 壯次

委員 唐沢 清治・小栗 芳雄

委員 劔持 秀喜

だが、各地域間で不公平感をもたれないためにも今後の方向性は。

町長 伊参地区から要望があり、モデル的に開始します。人口減少の中、共生社会、お互いに助け合って生きていくことが大切です。他の地域でも趣旨に沿っていただければ参加いただき、共生社会を目指していただければと思います。

地域集落支援員とは：

その地域の実情に詳しく、集落対策の推進についてのノウハウ・知見を有した人材が、町から委嘱を受け、町職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施する制度

(例) 集落点検の実施、集落の在り方についての話し合い、必要と認める施策を積極的に実施 等々

個別避難計画の策定について

小栗芳雄委員 個別避難計画の策定が市町村に努力義務化され、避難する際にも大きな役割を果たす。町ではまだ避難行動要支援者の名簿提供もなく、個別避難計画も策定されていない。今後の取り組みの予定は。

総務課長 現在、担当課と連携し、避難行動要支援者名簿の作成を行いました。来年度に民生委員さん等にご協力をいただき、情報の開示の確認を行い、開示の許可がされたところから、消防や自主防災組織等に周知し、いざという時の避難行動に役立てていくという段取りで取り組みを行っています。

小栗芳雄委員 国からは、条例の制定により避難行動要支援者情報の提供について、市町村の実情に応じて積極的に取り組むこととされているようだが、条例制定の考えは。

総務課長 災害救助法が適用される場合は、情報提供は可能と認識していますが、条例制定については検討させていただきます。

小栗芳雄委員 県内でも吾妻郡は対応が遅れているので、情報提供や個別避難計画について早期の対応をお願いしたい。

避難行動要支援者名簿とは：

災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者等の避難行動要支援者について、作成された名簿

個別避難計画とは：

高齢者や障がい者等の自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとに作成する避難支援のための計画

町への要望

令和4年2月8日に委員会を開催し、第1回臨時会議での予算案上程及び審議について、今後行政と議会双方が町民から信頼され、それぞれの役割を果たせる機関となるため、次の事項について審議をしました。

○新型コロナウイルス対策室(仮称)を設置し、より効果的、より充実した施策を推進すること。

○予算の執行にあたり、町民の理解が得られるよう十分検討し、適切な対応をすること。

文教民生

通学区域の撤廃について

山本日出男委員 幼稚園の通学区域を撤廃した経過は。

教育長 現状では沢田地区から中之条幼稚園への通園はできませんが、沢田地区等の保護者等への意向調査の結果を踏まえ、管内幼稚園の通学区域撤廃を行いました。



沢田幼稚園
※今後は地区に関係なく各幼稚園へ入園できるようになります。

山本日出男委員 小学校も通学区域について柔軟性があってもよいと思うが。

教育長 小中学校の通学区域は、適正な規模の学校と教育内容を保障し、教育の機会均等とその水準の維

開催日 令和4年3月8日

委員長 富沢 重典

副委員長 関 美香

委員 関 常明・山本日出男
山本 隆雄

持向上を図る趣旨より、法令に基づき決めているものです。

ヤングケアラー、8050問題について

関 常明委員 高齢化社会の中で社会問題となっている。準備ができていないに尽きるところだが、町の考えは。

住民福祉課福祉係長 両方とも深刻な問題のため、地域福祉計画の中でも取組を行っています。自助、共助、公助を絡めて地域とのつながりを大事にし、また周りに気付いていただくことは勿論、行政としてどのような支援があるか個人や親族の状況を勘案し、その場で適正な判断ができるような体制を取っていききたいと思えます。

ひとり親世帯への支援について

関美香副委員長 長引くコロナ禍の

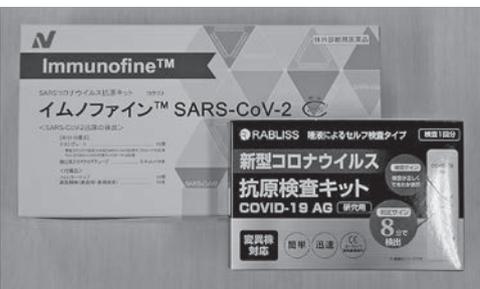
中で経済的にも精神的にも大変な中で子育てを行っていると思う。障がいのある方を養育している場合など町としての支援はあるか。

町長 経済的な支援では生活福祉資金制度による借り入れが利用できますが、生活の支援だと制限もあります。コロナに罹ってしまった場合の買い物支援などもあるので相談いただければと思います。

抗原検査・PCR検査について

関 常明委員 学校や幼稚園、保育所など仕事上必要な場合は、積極的に検査に取り組むべきでは。

町長 検査キットが不足しており、絶対数が確保されれば実施できますが、現時点では難しいと思います。国の方向性が示されていないため難しい状況です。



抗原検査キット等

コロナ禍による教員の状況について

山本日出男委員 教育委員会として教員の現状をどうとらえているか。
教育長 支援員を配置し、教職員の負担軽減に取り組んでいます。また夏休みや冬休みを短縮して授業日数を増やし、事務処理等に充てる試みも行っています。

障がい者雇用について

山本日出男委員 雇用の人数など基準があるが、教育委員会の募集や採用の現状は。

教育長 小中学校の教職員は、県の教育委員会の採用になります。幼稚園教諭や保育士は、町の採用です。で、免許や資格等の要件を満たせば受験可能です。

請願審査

○「安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める請願」が付託され審議しました。
審議の結果、継続審査に決定しました。

産業建設

小口資金の利用について

篠原一美委員 小口資金制度の利用者が減少しているが理由は、

観光商工課長 コロナ関係の資金繰り対策として、保証料や利子の一部を補助するセーフティネット保証制度があります。小口資金を返済し、この制度を利用する事業者が増えたためであると考えられます。

篠原一美委員 コロナ禍で中小企業はかなり苦しんでいるので、保証料を大幅に支援して借りやすい状況を検討する必要があると思うが。

観光商工課長 信用保証料の補助、利子の補助は現在も行っておりまして。昨年度より利率の引き下げを行っておりますが、信用保証料は大きな金額で苦労していることは承知しておりますので検討していきます。

中之条ガーデンズの利用について



ガーデンズ園内のリラックスの森

篠原一美委員 花を見るだけではなく、町民が憩いの場としてくつろげるような施設整備の考えは。花のまちづくり課長 7つのガーデンを宣伝している中で、リラックスの森があります。そして森の文庫として開放していますので、くつろげるようになっていきます。

開催日 令和4年3月9日

委員長 福田 弘明

副委員長 佐藤 力也

委員 山田みどり・篠原 一美

齋藤 祐知

齋藤祐知委員 フードラボなどで調理実習室を利用する場合に、利用しやすい17時以降の利用料金が一番高いが理由は。

花のまちづくり課長 閉園後のため夜間の警備などの関係から料金を少し上げる判断をしました。

篠原一美委員 花を見るだけではなく、町民が憩いの場としてくつろげるような施設整備の考えは。

浄化槽工コ補助金について

齋藤祐知委員 浄化槽工コ補助金は現在も継続しているか。補助対象となる地域は。

上下水道課長 現在設置してある浄化槽を撤去する場合の工コ補助金制度は継続していますが、県の補助事業のため無くなる可能性もあると聞いてます。公共下水道または農業集落排水などエリアがきまっています。そこら離れた地域が対象となります。

SAF（代替航空機燃料IIバ イオジェット燃料）について

佐藤力也副委員長 地球温暖化対策として、SAFの国産化が急務となる中で、その原料となる植物の栽培が近隣町村でもベンチャー企業の実証実験として始まっている。当町でも検討してはどうか。

町長 近隣の現地に行つて状況を確認してきたいと思えます。有力なもので、収益性等を確認できれば、町に広めていくことも必要だと思えます。

木材活用センターについて



木材活用センター建設予定地（旧沢田小）

山田みどり委員 事業を進めるに当たり騒音や粉塵が心配されるが対策は。

農林課長 騒音については、防音壁を必要な部分に設置する予定です。また製材等で出た粉塵は、大型の吸引機で処理を考えています。

山田みどり委員 プロジェクトマネージャーについて、経営能力、森林の知識、マーケットに精通していることなどから選定もかなり難しい。幅広く多方面に事業を展開するためにも、ひとりではなく複数人のほうが良いと思うが。

農林課長 1町村1名の配置になっています。選定については、実際に林業に携わっている方や建設予定地を見てもらい、研修を受けていただいた中で町に対しどんな提案ができるのか確認していきます。

3月定例会議 議員5名が一般質問

○大場壯次 議員・・・13ページ

- 1 土砂災害について
- 2 用地の利用について
- 3 新型コロナウイルス感染について

○剣持秀喜 議員・・・13ページ

- 1 2期にわたる伊能町政のまちづくりについて
- 2 新型コロナウイルス対策について

○佐藤力也 議員・・・14ページ

- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 移住・定住対策について
- 3 行政手続きのデジタル化について
- 4 地球温暖化対策実行計画について

○山田みどり 議員・・・14ページ

- 1 管内保育教諭の働き方について
- 2 木質バイオマスボイラーについて

○関 美香 議員・・・15ページ

- 1 公用車について
- 2 土のう袋について
- 3 有害鳥獣対策について

・各議員から提出された「一般質問
通告書」の内容を掲載しています。
・紙面の都合上、各議員のページに
は質問の一部を掲載しています。
詳細については、ホームページで
も確認できます。

議会で情報発信中!!

会議録や議員ごとの視察研修報告、本会
議の録画配信をご覧いただくことができま
す。ぜひご覧ください。



議会ホームページ

URL <https://www.town.nakanojo.gunma.jp/gikai/>

◇ 議会の傍聴についてのお願い ◇

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴や観覧を希望される皆様には、マスクの着用をお願いします。また自粛等のお願いをする場合がございますので、ご協力をお願いします。
※傍聴につきましては、入場制限を行っていますが、役場3階第1委員会室で本会議の様子を観覧できますのでご利用ください。

次回の定例会議は、6月1日（水）から15日（水）の予定です。

五反田、崩落場所のその後の対応は

保健環境課長―現場確認し、今後も確認を適宜実施



大場 壯次 議員

議員

土砂等による埋め立て、崩落場所のその後、どの様になったのか。

また、土砂等の埋め立て等の規制に関する条例の周知は、どの様に行われているのか。

保健環境課長

再度、現場確認し、所有者への確認も行って

います。原因は、昨年夏の大雨で土の強度が不足し崩落したものとされます。崩落箇所は委託業者の所有地内であり、広大な土地のため下方へ土砂流出等の心配はありませんが、安全確認の上からも引き続き管理者へ適宜確認をしていきたいと考えています。

周知の方法ですが、条例施行に伴い町内外の建設事業者及び公共機関含む関係団体に対して一斉通知をしています。

農地の不正利用について

議員

農地に農業に関係ない物が置かれているのが見受けられるが対応は。

農林課長

連絡があれば、農業委員

会でそこが農地で有るのか無いかを確認します。農地にもかかわらず、物が置いてあれば、所有者に確認し、所有者のものであれば片付け等を指導し、所有者以外の物であれば、不法な投棄となるので、警察等に連絡し、投棄した者が特定できれば、片付けさせることとなります。

学校施設でのコロナ感染陽性者について

議員

学校施設でのコロナ感染陽性者について

どのようにとらえているか。

教育長

管内の各校園所等で感染が確認

されていますが、感染数については、県が公表発表している数値になるので、教育委員会として管内校園所ごとの感染状況について、報告できるものはありません。

引き続き、感染リスクの高い活動の回避などを行うとともに、各家庭にも感染防止の徹底や適切な換気の協力をお願いし、感染防止に努めていきたいと考えています。

中之条町の未来図を

町長―町民であることに誇りを持てる町に



劔持 秀喜 議員

議員

人口の減少、少子高齢化が急速に進む中

でコンパクトシティ、スマートシティ、スーパーシティなど各地で様々な町づくりが進められています。私はスマートシティとコンパクトシティを融合した医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、高齢者が安心して暮らせるよう公共交通と連携した「コンパクト・ネットワーク構想」この考え方がこの町この吾妻が目指すべきまちづくりではないかと思っています。

町の未来図づくりに取り組んでいただきたいが如何か。

町長

これからのまちづくりの対応としては、まずコロナへの対応となります。感染拡大防止の取り組みと、社会経済活動の両立を図りつつ、町民の命と健康、安定的な暮らしを守り、地域経済の速

やかな回復を目指す必要があります。

次に人口減少、少子高齢化の進行への対応。社会構造の変化に対応したまちづくりの視点が重要となってきます。

次に安心安全対策の重視。地域住民の自発的な助け合いの中で、安心安全を確保することが求められています。

次に地球環境の保全と環境型社会への移行。資源循環型社会の構築に取り組み、持続可能なまちづくりを目指す必要があります。

次に高度情報化、ICTへの対応。効率的な行政サービスを提供する手段として、ICTを積極的に活用することも求められているものと考えています。

町の未来図としては、中之条まちづくりビジョン、あるいは総合戦略で示している重点施策を着実に実行し、現役世代はもちろん、次の世代も中之条町に愛着を持ち、町民であることに誇りを持てるような、そういった町を作っていきたいと思っています。

行政の継続性も重視しながら、住民福祉のさらなる充実に図っていきたいと思っています。

コロナ禍での保育士の処遇改善について

町長—他の職種との均衡も考慮し見送り



山田みどり 議員

議員

厚生労働省から保育士の賃上げをするよう通知が来ているが町の対応は。また、保育所は職員の半数が会計年度任用職員だが、正規職員を増やす取り組みはできないのか。

町長

町職員の給与については、国の人事院や県の人事委員会の勧告に基づき給与水準を維持しています。中之条町の他の職種との均衡も考慮し、今回の措置につきましては実施しないこととしました。

また、保育所等の会計年度任用職員については、園児等の増減や特別な支援が必要となる園児等への対応や常勤職員の産休や育児休業等における臨時的な任用が必要となる場合をお願いしています。今後人口減少や少子化の進行により園児数も減少傾向にあることから、正規職員については計画的に採用してい

かなければならないと考えています。
役場庁舎で使われている木質バイオマスボイラーについて

議員

木質チップの水分の含有量が多いためにエラーが出ているようだが対応策は。また、チップを燃焼させることによる重油の使用については計画当初の予定は。

町長

現在は役場近くに倉庫を借り、また旧沢田小学校をストックヤード兼乾燥作業場として活用しており、含水率の低いチップを供給していただいています。また、重油と併用した比率は、正確な比率はありませんが、令和2年と3年を比較した場合に、役場だけでいうと、重油の使用量は減っています。計画の段階での重油の使用量については、使うということはありましたが、どの程度使うというのは想定はしていませんでした。

地域商品券で生活支援を

町長—状況を注視し、より良い対策で支援を検討



佐藤 力也 議員

議員

新型コロナウイルスの感染拡大や物価高騰による生活困窮者支援として、地域商品券の発行はできないか。

町長

現在、住民税非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯に対する国からの支援として、1世帯10万の臨時特別給付金の給付を行っています。今の段階では、町からの地域商品券等の発行は、予定していませんが、今後の新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響を注視し、支援が必要であるならばより良い対策を検討し、速やかに対処したいと思えます。

行政手続きのデジタル化について

議員

令和4年度から、役場窓口以外でど

な手続きが可能となるか。

町長

行政手続きのオンライン化に対応すべく、基本31手続きのうち、町が事務を行う手続きについては、2022年度末（令和4年度末）までに、国のポータルサイト、マイナポータルからオンラインでも申請できるように準備を進めています。

また、町民の方がわかりやすく、オンライン手続きができるように、令和4年度より「中之条町デジタル窓口」の構築を進める予定でいます。他自治体でも先行事例が多くあるLINEを利用した検討を進めたいと考えています。

自治体基盤クラウドシステムについては、導入後は、一部のコンビニエンスストアやショッピングモールなどに設置されている端末で、住民票の写し・印鑑登録証明書などの取得が可能となります。令和5年度以降は税証明書等も追加が予定されています。精算や受取については、利用した店舗内の端末で全てが完結いたします。

公用車の今後のあり方について

総務課長—電気自動車への切り替えも今後、検討します。



関 美香 議員

議員

保有している電気自動車
を災害時の非常用電源として活用すべきと考えるが。

総務課長

クルマに搭載している大容量電池は、非常用電源、また移動式電源として活用することが可能で、洗濯機や冷蔵庫、電子レンジといった家電に電気を供給したり、スマートフォン充電に使うことが可能となります。しかし、電力量には限りがあるため、町としてどのように活用していけるのか、先進自治体の事例を参考に、今後検討していきたいと考えています。

土のう袋について

議員

SDGsの目標「作る責任・使う責任」の視点に基づき、環境に配慮した土のう袋の使用を検討すべきではないか。

建設課長

仮設的な使用であっても、

設置する場所によっては、河川などへ流失し環境に被害を与えてしまう場合も無いとは言えません。直射日光にも弱い点も踏まえた中で、耐候性に優れた材質や土の中でも3年位で分解する材質の土のう袋もあるので、使用する場所や期間に応じた中で、環境に配慮した土のうの使用を、今後検討したいと考えています。

鳥獣被害対策実施隊員について

議員

今後の隊員の担い手のための狩猟免許を使い、ふるさとのために貢献したいと願う町外方の加入を検討すべきではないか。

町長

実施隊員の高齢化や減少といった、隊の存続に関わる問題の解決に対して町外の方の加入は大変に意味のある方策だと思えます。しかし、一方的に町外の方の加入を認めることは望ましくないと考えていますので、総会等の場で、隊員の皆様にご意見を伝え、協議いただきたいと思います。そして、それらを踏まえた上で判断することが大切だと考えています。

第1回臨時会議

令和4年第1回臨時会議が、2月2日に開かれました。
一般会計補正予算など町長提出議案3件を審議しました。

補正予算

★一般会計補正予算(第11号)

国において、令和3年度の補正予算が成立し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が追加で交付されることに伴い、早期に事業を計画し実施しなければならぬため、補正金額1億91万8千円を増額しました。

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び学校保健特別対策事業補助金合計

9千717万3千円

◎一般会計(主な事業)

事業名	補正額	主な内容	予算総額
役場庁舎管理事業	1,102万円	抗菌対策のため会議用机等の購入など	105億9,287万円
公共交通対策事業	300万円	交通事業者支援の補助金	
情報化推進対策事業	750万円	リモートワーク環境整備機器の購入	
六合支所庁舎管理事業	1,521万円	空調機設置工事	
保健センター運営管理事業	3,042万円	空調機設置工事及び空気清浄機の購入	
小学校運営管理事業	309万円	CO2モニター、非接触型検温器、サーモグラフィカメラ等の購入	
中学校運営管理事業	461万円		
歴史と民俗の博物館運営事業	2,607万円	博物館本館の空調機設置工事	

○主な質疑

山田みどり議員 交付金は、保健センターの空調整備など町民に対して間接的なものではなく、直接的な支援として使うべきだと思いが。

町長 交付金は多岐にわたりに利用できるもので、保健センターは災害時の福祉避難所でもあるため、施設整備を重点的に実施させていただきました。また、いままでの交付金の使途別の金額でも、地域商品券など6割ほどを町民への支援に配分させていただいています。

山田みどり議員 施設整備を今行う緊急性はあるのか。町民への支援もまだ十分ではないので、そうした支援となる予算にしてほしい。

富沢重典議員 庁舎内備品の抗菌化について詳細は。また中学校の特別教室へのエアコン設置について具体的な場所は。

総務課長 庁舎内では、不特定多数が利用するロビーの椅子

子及び大会議室の机、椅子になります。

子ども未来課長 音楽室、理科室及び会議室への設置を予定しています。

福田弘明議員 町民の健康を守るうえでも、この予算を使って保健センターの防御態勢を構築していくのは重要なことである。今後どのようにコロナ禍に臨んでいくのか。

保健環境課長 先ずはスムーズに3回目のワクチン接種ができるように努めていきます。自分たちの感染対策を徹底し、国や県の情報を逐次把握しながら町民からの意見等に対応していきたいと考えています。

大場壯次議員 保健センターに9台のエアコンを整備というのだが、バイオマスボイラーの熱源利用なのか。

保健環境課長 現在、冷暖房はバイオマスボイラーがメインですが、その補助的なものというだけで、熱源は電気を想定しています。

安原賢一議員 バイオマスボイラーがきちんと稼働していればエアコン整備は必要なかった。交付金に便乗して施設整備を行ったと誤解されてしまっているのでは。

町長 今回は設備投資が多い印象となつてしまいました。が、アフターコロナなど今後どのように展開していくのかわからないため、そういったことにも気を配る必要があると考えています。

佐藤力也議員 如月キャンペーンの再開の時期は。また、コロナに係る協力金等の支援だけでは厳しい職種もあるのか、どうやって救済していくか、またそういう声をどう拾っていくかが今後の課題だと思いが。

町長 如月キャンペーンについては状況を見ながらなるべく早く再開したいと考えています。また補償等がない業者に対しては、月次給付金で対応はしていますが、それで十分というわけではないため、今後も検討していきます。

佐藤力也議員 交付金がなくても町独自で行わなければならないときは検討をお願いしたい。

篠原一美議員 空調設備等を整備することにより、検診時など安心して保健センターを利用できる体制が構築できるのか。

保健環境課長 エアコンだけでなく、換気が不十分のところは空気清浄機の導入も検討しています。検診方法も工夫し、総体的に安全に検診を受けていただけるように考えています。

篠原一美議員 設備も含めて、町民が安心して検診等に参加しやすい体制づくりをお願いしたい。

剣持秀喜議員 バイオマスボイラーが見込みどおりの機能を発揮しないため、新たに空調整備が必要になった。当初からバイオマスボイラーだけでは無理であったのなら、元のエアコンを残しておくべきだったのでは。

町長 保健センターのエアコンは老朽化していたため、バイオマスボイラーを導入する際にあわせて入れ替えをさせていただきました。

剣持秀喜議員 せっかくの交付金なので、町民が希望しているような施策をタイムリーに考えていくことが求められていると思うが。

町長 アフターコロナを見据え、また災害時にコロナが収束しているとも限らないので今回は施設を充実させていいただきました。

損害賠償

★損害賠償の額を定めること
こうして

除雪作業中の物損事故に伴うもので、相手側と和解が成立したことにより、81万590円の賠償金を支払うものです。

○質疑

大場壯次議員 破損した制水弁は、町道、私有地のどちらにあったのか。
建設課長 町道に設置されたものです。

大場壯次議員 町道の除雪作業は大変なので、路面をみて凹凸のないようマンホール関係の調整をお願いしたい。

専決処分の報告

★専決処分の報告について
・令和3年度一般会計補正予算（第10号）
子育て世帯への臨時特別給付金事業（高校生以下の対象世帯に対し10万円を支給）について、所得基準（年収960万円）を超えている方等にも支給をするもので、補正金額は、701万円を追加し、総額を104億9千195万1千円としました。

◎ 審議結果

議員名等 議案名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壯次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	剣持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
令和3年度一般会計補正予算（第11号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

第2回臨時会議

令和4年第2回臨時会議が、4月25日に開かれました。
補正予算及び財産の取得など町長提出議案6件を審議しました。

補正予算

★令和4年度一般会計補正予算（第2号）
木材活用センターの整備等に伴い、1255万8千円を増額し、予算総額は105億6015万8千円となりました。

○質疑

安原賢一議員 いろいろな物が高騰し非常に厳しい時期だが、また補正とならないように先の見通しをきちんと考えるべき。これで大丈夫という目途が立っているとは思えないが。
町長 今後物価が上がる可

能性が非常に大きいため、早急に契約を結び予算額を確定したいと考えています。

富沢重典議員 契約しても1箇月単位で物の値段が変わってしまうので、なるべく早く工事の完成を目指すほうがよい。

財産の取得

第1分団第3部（西中之条）に配属予定の消防ポンプ自動車1台で四輪駆動、乗車定員6名です。
・取得金額…3157万円

専決処分の報告

★令和3年度一般会計補正予算（第13号）
各事業の確定等により、補正金額は1億8965万7千円を増額し、予算総額は110億1

063万9千円となりました。

★令和3年度介護老人保健施設「うあい荘特別会計補正予算（第2号）」
事業の確定により補正金額は805万円を減額し、予算総額は、6億2219万8千円となりました。

★令和4年度一般会計補正予算（第1号）
新型コロナウイルス感染症対策「緊急経済対策」事業として、4460万円を増額し、予算総額は105億4760万円となりました。

★税条例、都市計画税、国民健康保険税条例の一部改正
地方税法等の改正に伴い、個人住民税の寄付金税額控除対象の経過措置の終了に伴う規定の削除など関係する規定を整理しました。

議会の主な活動

- (1) 2月 2日 第1回中之条町議会臨時会議
- (2) 8日 総務企画常任委員会
- (3) 9日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- (4) 17日 群馬県議長会定期総会（オンライン開催）
- (5) 18日 自動車教習所運営委員会
- (6) 22日 議会運営委員会
- (7) 22日 全員協議会
- (8) 24日 西吾妻福祉病院例月出納監査
- (9) 24日 ビエンナーレ運営委員会
- (10) 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会
- (11) 25日 吾妻環境施設組合議会
- (12) 25日 吾妻東部衛生施設組合議会
- (13) 26日 消防車両移管式
- (14) 3月 2日 中之条町議会3月定例会議（1日目）
- (15) 3日 中之条町議会3月定例会議（2日目）
- (16) 7日 予算決算審査特別委員会（1日目）
- (17) 7日 総務企画常任委員会
- (18) 7日 中之条ガーデンス研修会
- (19) 8日 中之条町議会3月定例会議（3日目）
- (20) 8日 予算決算審査特別委員会（2日目）
- (21) 8日 文教民生常任委員会
- (22) 9日 予算決算審査特別委員会（3日目）
- (23) 9日 産業建設常任委員会
- (24) 16日 中之条町議会3月定例会議（4日目）
- (25) 17日 西吾妻福祉病院組合3月定例議会
- (26) 22日 社会福祉協議会理事会
- (27) 24日 消防車両移管式
- (28) 25日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会
- (29) 25日 議員研修会
- (30) 30日 社会福祉協議会評議委員会
- (31) 4月 15日 令和4年度区長会議
- (32) 19日 ユネスコ民話研修会
- (33) 20日 議会広報特別委員会
- (34) 25日 第2回中之条町議会臨時会議
- (35) 25日 議会広報特別委員会



新しい消防車両が移管されました。

(13) 第1分団（中之条地区）へ【写真：左】

(27) 第2分団（沢田地区）、第5分団（六合地区）へ【写真：右】



(18) 塚本こなみ先生たちによる研修会が中之条ガーデンスで開催されました。



(29) タブレット導入に伴い使用方法を学ぶ議員研修を行いました。

議員表彰

令和4年2月17日、永年にわたり地方自治の本旨を体し住民福祉の増進に寄与された功績により、唐沢清治議員、関常明議員、富沢重典議員が群馬県町村議会議長会より表彰され、3月2日に開催された3月定例会議において表彰状及び記念品の伝達を行いました。



左から唐沢議員、関議員、富沢議員

編集後記

令和4年度中之条町一般会計予算総額105億300万円で賛成多数で可決されました。年々増加し今回は、過去最多となりました。大切な予算が町民の安全・安心で健康に暮らせるように、適切に執行すべき、議員が町民目線で精査し確認して参ります。

中之条町選挙管理委員会は、任期満了（11月29日）に伴う町長選の日程を同15日告示、20日開票と決めています。

町議会議員も任期、後1年、より良い中之条町、より良い議会にする為に研鑽してまいりますので、令和4年度もどうかよろしくお願い致します。

この議会だよりが届く頃までに、ロシア（プーチン大統領）によるウクライナへの残酷非道な侵略行為が平和的に終結することを願うと共にゼレンスキー大統領にエールを送ります。

議会広報特別委員会

- 委員長 篠原 一美
- 副委員長 佐藤 力也
- 委員 山田みどり
- 委員 関 美香
- 委員 大場 壮次
- 委員 齋藤 祐知